

さきょうくしゃきょうだより



マスコットキャラクター
あかりちゃん

「さきょうくしゃきょう」は社会福祉法人京都市左京区社会福祉協議会の略称です

こころのひとりぼっちをなくそう

左京区社協では北部地域への支援のひとつとして、「左京×学生縁ねっ」と連携して学生や一般のボランティアを募り、毎年、北部3地域（別所・花脊・広河原）の雪かき活動を行っています。また、久多地域では、救援ボランティア左京が雪かきボランティア「スノーバスターズ」を組織し、支援しています。

降り積もった雪は数十センチになり、氷のように固まると、男性でも一苦労します。温かく迎えて下さった地域の方々から、雪かきを通して山里のくらしを聞けるのも魅力のひとつです。

必要なときにボランティアを派遣できる体制を整えるため、雪かきボランティア登録制度も開始しました。



目次

左京区社会福祉大会・シンポジウム

当事者・実践者と住民がはじめる福祉のまちづくり…P.2・3
学区社協はどんなことをしているの? ……P.4
学区社協活動交流会

みんなでつくるわが町のまちづくり ……P.5

「力になりたい」と「困っている」をつなぐ

災害ボランティアセンターの取り組み ……P.6・7

おしらせ・事業紹介 ……P.8

当事者・実践者と住民が はじめる福祉のまちづくり!!

今年度の左京区社会福祉大会は平成29年11月30日にグランドプリンスホテル京都で開催され、多年にわたり社会福祉・ボランティア活動の発展に貢献された2団体94名の方々が表彰されました。Ⅱ部では「当事者、実践者の声を左京区の地域福祉活動に活かそう!」をテーマに、左京区地域福祉推進委員会との共催で地域福祉シンポジウムが開催されました。京都府立大学准教授 朝田佳尚氏のコーディネートにより進行され、会場からは「北部山間地域の話では、住み慣れたところで暮らし続けたいと思うのが当たり前だと思います」「子どもの貧困が色々な面に影響を及ぼしている点で驚いた。子どもの貧困をテーマにして勉強会をしたい」「ひきこもっていた人がボランティアする際には、自分たちの事業所も是非協力したい」などの意見が表明されました。(文責：事務局)

中学生学習支援事業 —左京中3学習会の取り組み—

(公財)京都市ユースサービス協会 斉藤 麻未氏



1. 子どもの貧困の深刻な状況は変わらない—

厚生労働省が発表した国民生活基礎調査によると、2015年時点の子どもの貧困率は13.9%で、この数字は、経済協力開発機構(OECD)加盟国の中で最低水準にあります。

貧困世帯への経済的な支援とともに、子ども自身への教育や生活支援を含めた総合的な対策が必要です。京都市ユースサービス協会では、子ども・若者を巡る社会的な課題の解決に向けた取り組みのひとつとして、この事業を実施しています。

2. 「中3学習会」とは何でしょう? —

この事業は市内全区で実施され、左京区では毎週金曜日の夕方に区内の協力施設で開催しています。子ども達は、「家では家事をしており、学校の授業では疲れて寝てしまい勉強についていけない。」などの悩み

を抱えています。ボランティアスタッフは、“勉強がわかる喜び”を知ってもらうために、子どもの意見や感想を取り入れ、主体的に学べるように働きかけています。学習後は、参加者全員で交流する時間を持ち、誕生日会や季節ごとのイベントなど、みんなで意見を出し合いながら「自分らしく」過ごせる場をつくっています。

3. 青年期に大切な経験や関わりとは? —

経済的困難は、青少年の学力、心理面、身体面に様々な影響をもたらします。そのため、学習支援と同時に文化体験や地域の身近なところで家族以外の大人との交流をもつことが大切です。また、地域の人々とのふれあいを通して、世帯の孤立をどう防ぐのかを地域の方と一緒に考えていきたいです。

中3学習会学生ボランティアの声



ボランティアミーティング

勉強に対するモチベーションが低かったAさんは、当初、学習の時は何も持たずに座るだけでした。私からAさんに話しかける日々が続きました。すると、ある日、Aさんから「宿題をしたい」との発言がありました。勉強する気になれない子どもの“やる気”をどう引き出せばいいのか?

と考えあぐねていたのがAさんの心の変化は、正直嬉しいものがありました。

活動していく中で“どこまで踏み込んだ話をしているのか?”など悩みは尽きませんが、ふりかえりやミーティングでメンバーと共有しながら解決に向けて考え続けています。



アートや音楽で社会参加

—NPO法人 若者と家族のライフプランを考える会「あーと・すぺーす絵と音」—

理事長 河田 桂子氏 サービス管理責任者 たなか きょう氏

1. どんなことに取り組んでいるのか —

私達は、生産活動を通して知識・能力向上の訓練をする自立と、社会参加を目的としたB型就労継続支援事業に取り組み、発達障害や引きこもりなどで社会的に孤立している若者やその家族を対象に、ライフプランの視点からサポートをしています。

2. 若者が抱える生きづらさ —

2010年に全国15~39歳の5,000人を対象に内閣府が行なった実態調査では、ほとんど外出しない狭義の引きこもりと、趣味の用事 のときだけ外出する準引きこもりを合わせた広義の引きこもりは69.6万

人と推計されています。2017年11月、京都府の実態調査結果では、府内で1,134人を把握し、年齢別では40歳以上の中高年が33.2%を占め、引きこもりの長期化・高齢化の傾向が浮き彫りになりました。

就労の機会がなく社会的に孤立している人は、周りから「怠けている」とみられがちです。そんな時にやってはいけないことは、親亡き後を心配し「働きなさい。あなたははどうするの」と責めることです。また、地域の中に自分の居場所・役割を持ち、社会から必要とされていると思える環境をつくることは孤立感を防ぎ、自立意欲につながっていきます。

元引きこもり当事者の想い

私は、引きこもりをした経験から、社会の中に役割・居場所を作り、地域の方とゆるやかにつながり支え合って生きていきたいと思っています。当事者がのぞんでいるのは「一緒に考

えてくれる人や場所」があることです。地域のニーズと若者の特性を生かしマッチするものはないか“地域の方々とともに”考えていきたいです。



たなか きょう氏

ホームヘルプサービス導入のあゆみと課題

—不足する社会資源 地域格差をなくし希望の里へ—

別所社会福祉協議会 藤井 優三氏



1. 北部山間地域をどう継続していくか? —

若い世代の人口が一桁となり、高齢世代が増え危機的な状況になっています。“高齢世代の生活をどう支え、若い世代がどうしたら地域に定着してくれるのか”地域全体の大きな課題になっています。

当初、地域住民の間では「人に迷惑をかけたくない。自分で頑張ってできなければ入院する」という想いが強く根付いていました。しかし、住民同士の話し合いや高齢サポート左京北の協力も得て個別の聞き取りをする中で「実際どんなサービスを自分たちや家族が利用できるのか」という声が出始め、住民向け勉強会を開き疑問を解消していきました。そして、(福)京都福祉サービス協会の協力により、ヘルパー派遣を実現しました。

2. 地域住民の反応は? —

耳が聞こえにくくなり不安で閉じこもってしまっていた女性は、ヘルパーサービスを利用する中で、寝具クリーニング利用や外出事業にも参加されるようになりました。

3. 誰もが住んでみたい里を目指して —

私達は「限界集落」化し、「消滅」の危機にあっても“住み慣れた地域で暮らし続けたい”と強く願っています。関係機関との連携のもと、継続して福祉サービス利用普及などにより潜在する地域格差をなくしていくとともに、やま・ゆき・峠がある地域が生き延びるために過疎対策地域基準を設けていただき、子育てには最適である自然豊かな利点を生かし家賃負担を低くした住居の確保等、若者が住みやすい条件づくりを住民と行政などとともに考えたいです。

コーディネーター朝田氏：取り組みの中で印象に残っていることは?



別所社会福祉協議会藤井氏：ヘルパーとの交流で気持ちが晴れ意識を外へ向けることができた利用者から「(外出行事に)一緒に行きたい」

と言われたときは、びっくりしてその場で即答できない程でした。地域の方が生き生きした表情を見て嬉しく思っています。

学区社協はどんなことをしているの？

●そもそも学区社協とは？

学区社会福祉協議会（以下、学区社協）は、住民の発意と参加によって各学区で組織されています。それぞれの地域における日常生活上の困りごとやさまざまな福祉課題について話し合い、地域の各種団体や関係機関と連携しながら地域住民のつながりづくり、支え合いの活動を展開しています。

●学区社協の取り組みとは？

学区社協では、主に健康すこやか学級、子育てサロン、寝具クリーニング、ふれあい食事サービス、広報活動などに取り組んでいます。その他に、独自の居場所づくりに取り組む学区社協も増えています。

ボランティアさんにインタビューしてみると

吉田社協

菊池 嵯智子さん（ボランティア歴：25年、担当：庶務）

Q 吉田学区の健康すこやか学級の特徴は？

A 小学生と一緒に給食を食べたり男性だけで集まる会を作っています。今年度からは、気軽に参加してもらえよう時間の短いミニすこやか（2時間）も始めました。

Q やりがいはなんですか？

A どうしたら楽しんでもらえるのか、悩みながら企画をしています。参加者から「来てよかった！また来るね！」と言ってもらえた時はとてもうれしいですね。

Q 心がけていることは？

A ボランティア活動をする際には、「やってあげている」というのではなく、いくつになっても勉強という心がまえで取り組むようにしています。

Q 活動を続けている理由は？

A 地域の様々な人とつながりが出来たことはとてもよかったことだし、活動で得た経験は自分のためになっています。



松ヶ崎社協

氷室 由美子さん（ボランティア歴：1年、担当：健康すこやか学級）

Q 活動を始めたきっかけは？

A 介護予防について理解をしたい、高齢者のために何かしたいという思いがありました。そんなとき地域で健康すこやか学級の活動をしている友人の「ないものは自分でつくる」という言葉に刺激を受け、学区社協活動に携わるようになりました。

Q 活動をはじめてよかったことは？

A 活動を通じて、少しずつ地域のことやどのような社会資源があるのか知ることができたことです。

Q 松ヶ崎社協の活動の特徴は？

A 健康すこやか学級では、博愛会病院の保育士さんに毎回ご協力を得ています。健康に関する話や体操など、盛りだくさん内容で4時間を過ごします。

Q 今後どのような活動を行っていきたいですか？

A 外出する機会があれば、新たな交流がうまれたり悩みを共有できたりすると思います。そういう機会を作る活動が、長く続くよう関わっていききたいと思っています。



岩倉北学区社協

福井 孝祐さん（ボランティア歴：6年、担当：広報）

Q 活動を始めたきっかけは？

A 私はずっと仕事人間で、地域のことは全くわかりませんでした。退職後、以前から行っていた小学校での陶芸教室のつながりで、学区社協活動に関わることになりました。

Q 主にどのようなことを担当していますか？

A 広報紙を年4回発行しています。男性3名で記事の編集を担当し、各事業の担当者に記事を書いてもらい、その取りまとめを行っています。全体の構成を考え、文章を編

集し、デザインは業者をお願いしています。

Q こだわっていることは？

A 楽しい雰囲気が伝わるように心がけています。

Q 活動を続けるために必要なことは？

A 肩に力を入れず、人とのつながりを作っていこうと取り組んでいます。地域の人と顔見知りになったり、活動の中で自分を高められることも多いですね。



学区社協のボランティア活動に興味のある方は、お問い合わせ下さい。

問い合わせ先 京都市左京区社会福祉協議会事務局 TEL：075-723-5666

学区社協活動交流会

みんなでつくるわが町のまちづくり

隣近所の関係が希薄化しニーズを掘みにくい中、各種団体の連携による取り組みは、地域のつながりづくりに大きな効果をもたらしています。一方で、活動を継続していくための担い手不足や住民の多様な生活問題への対応など、新たな課題も出てきています。

そんな課題を打開する「福祉のまちづくり」活動の秘訣を交流しました。

別所社協、花脊社協、広河原学区社協 ヘルパーさん利用が始まりました!!

（使えなかったサービス利用を実現）

北部山間地域では、平成19年に地域密着型施設「花友はなせ」が開設され、医療・介護体制の拠点ができました。その後、ホームヘルパー利用へのニーズが高まり、昨年8月から別所では毎週水曜日2件、花脊では毎週火曜日1件・水曜日1件、広河原では毎週水曜日1件のサービス利用が可能になりました。

（利用者の反応について）

ヘルパーの中には、数少ない地元の若手も1名います。利用者からは、「次はいつきてくれるのか。」と、支援を楽しみにされているという声を聴いています。



浄楽学区社協 地域で連携し取り組む地域福祉活動について

（どんなメンバーで活動をしているのか）

学区社協の主な活動は、在宅老人ふれあい事業、友愛訪問、寝具クリーニング、子育てサロン「ほっぺくらぶ」、健康すこやか学級、救急医療情報キットの配布と見守りです。活動の担い手は、学区社協役員、民生委員、老人福祉員、地域福祉委員が広報や当日の進行・運営を担っており、強い連携のもと福祉のまちづくりを進めているのが特徴です。

（今後について）

今後は、継続した活動のために担い手を確保し、活動の企画や準備、実施などの際に、役職を越えて集まったメンバー同士が協力して取り組んでいきたいです。



修学院第二学区社協 お助けマン事業を通して

—誰もが安心して住めるまちづくりを目指して—

（お助けマン実施の経緯について）

学区内アンケートを実施すると、地域が抱える問題点が浮き彫りになりました。地域活動に共感する仲間とともに「高齢者ふれあいのお手伝い」「給食エプロン等の縫製」「公園の手入れ」などへと、活動が広がっていきました。

（活動から学んだこと）

お助けマンは、無償であるが故に相手が気を遣われてしまうので、「してあげる」ではなく「仲間作り」の精神で取り組んでいくことが大切です。今後は、ニーズへの理解と対応のあり方についても検討していく必要があります。



市原野社協

—災害時における自治会など未加入所帯
避難・介護に関する加入促進事業—
災害時における避難・介護に関するアンケート

（市原野社協「介護者の会」のアンケートから発展）

市原野学区は、2,100世帯のうち自治会、町内会に入っているのは1,500世帯、組織率70%です。学区社協と介護者の会が実態把握のために作成したアンケートは、自治連、自主防災会、消防団、民生児童委員協議会、老人福祉員、高齢サポート左京北の想いが一致し、多団体が参画するアンケートへ発展していきました。

（学区全体で考えていく）

今回のアンケート結果は、社会福祉協議会による高齢者等の普段の見守りや災害時の避難連絡と誘導など「いざ、一大事」の観点から重要な役割を担っていきます。



『力になりたい』と『困っている』をつなぐ 災害ボランティアセンターの取り組み

熊本の地震や九州の豪雨災害など、毎年のように大規模自然災害が発生しています。その際、被災地へ向かうボランティアの方々の様子がメディアに取り上げられ、「災害ボランティア」や「災害ボランティアセンター」という言葉を耳にしたことのある方は多いのではないのでしょうか。

では、もしも左京区で災害が発生し、自身が被災し「ボランティアの力を貸してほしい」と思った時どうしたらよいのでしょうか。ここでは、左京区災害ボランティアセンターの取り組みをご紹介します。

災害ボランティアセンターってなに？

災害ボランティアセンターとは、災害時に被災地に設置され、災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。

発災3日目を目標に開設し、大規模な自然災害により被災した地域の復興のお手伝いをするボランティアを、被災者からの依頼に基づき派遣することが主な役割です。

どうしたらボランティアに来てもらえるの？

災害ボランティアセンターが開設されたら、開設場所や連絡先を広報チラシやインターネット等を活用して情報発信します。被災され片付け等が自力で対応できない時は、電話や来所により困りごとを伝えてください。

障害のある方や子育て中の方、配慮が必要な方は、その旨、お伝えください。依頼は無料です。依頼を受けたらボランティアを、被災された方のもとへ派遣します。

どんなことを依頼できるの？

依頼できる内容は、災害によって様々です。依頼可能な内容かどうか、災害ボランティアセンターのスタッフに相談してください。

ボランティアの活動の一例

- 壊れた家具の片付け
- 家財道具の運びだし
- 泥のかき出し 等



床下の泥出しに励むボランティアさん

左京区で活動中のボランティアグループ活動を紹介！

手話はとても魅力ある言語！

手話を学ぶことはとても楽しいです。手話の魅力に感動し、手話が通じた時の喜びを感じながら楽しく活動をしています。

お花見や、野外散策など楽しい行事もいっぱい！

聴覚障害者の抱える問題を一緒に考えたり、聴覚障害者協会と共に活動をしています。ぜひみなさんも一緒に手話を学びませんか？お待ちしております！



手話で交流



一緒に活動してくれる方(会員)募集

手話学習会 みみずく左京支部

★日時 毎週火曜日
19:00～21:00
(休みの時もあります)
お問い合わせください

★場所 左京区役所 2階

★会費 1年間2,000円

みみずく会左京支部 検索

(連絡先) 京都市左京区社会福祉協議会

☎ 075-723-5666

✉ s-csw@sakyoku-syakyō-kyoto.jp

災害ボランティアセンターの仕組み！



訓練を実施しています

左京区社協では、災害発生時に備え、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しています。今年度は、学区社協や自主防災会などの地域団体や関係機関にもご参加いただき、左京区役所にて実施しました。

区災害ボランティアセンターの運営について、各班に分かれボランティアの受け入れや困りごとの受付、ボランティア派遣などの訓練を行い、改善点を検討しました。また、障害者団体の参加を得て、ボランティアを派遣する際にどのような配慮が必要か、意見交換をしました。



被災者からの依頼を受け付ける訓練

・地域でボランティアを受け入れる体制づくり

困りごとを把握するためには、区災害ボランティアセンターが被災地域のことをよく知っている地元の方々と連携することが必要不可欠です。今回の訓練では、地域団体が災害時要配慮者の困りごとの聞き取り訓練を行いました。参加者からは、「ふだんから顔の見える関係づくりが必要」という声や「災害時の地域での役割分担を明確にしていけるべき」などの意見が出されました。各学区の状況に応じ、一つひとつ具体化していくことが今後の課題です。

安心して活動するために ボランティア保険・福祉行事保険のご案内

ボランティア保険… ボランティア活動をする「個人」が対象となる保険です。

- 年間保険料 (1名につき)
基本コース Sプラン 250円 Aプラン 300円 Bプラン 500円
※天災コースもございます。
- 加入期間 保険料振込日の翌日～当該年度の3月31日までが保険期間となります。(年度単位)

福祉行事保険… ボランティア団体等が行う非営利の公益的な行事や活動にかけられる保険で参加者全員が対象となる保険です。

- 保険料 (参加者1名につき) 日帰り行事 30円から 宿泊行事 238円から
- 加入手続きは、各区社会福祉協議会・京都市社会福祉協議会が窓口となっております。
- 問 合 せ 先 京都市左京区社会福祉協議会 ☎075-723-5666
取扱い代理店 (株) エスアールエム ☎075-822-8601

おれんじサロン さきょう

レクリエーションやお茶を
楽しみながらお話しませんか？

- 日時** 毎月第2木曜日（祝日の場合変更有）
- 場所** 左京合同福祉センター 3階 会議室（下図参照）
- 対象** 認知症の方や少しもの忘れが出てきた方（年齢は問いません）
及びご家族、本人が一人で来られるか、ご家族等と一緒に来られる方（送迎はありません）
- 定員** 10名程度
- 内容** 茶話会・レクリエーション・歌・体操・外出企画等
- 費用** 無料（ただし企画内容によって実費徴収あり）
- その他** 出入り自由
- 問合せ** 京都市左京区社会福祉協議会（TEL075-723-5666）



▲みんなで体操

▼北野天満宮
ヘドドライブ



▲折り紙で作品づくり



地域あんしん支援員 設置事業

どんなことをするの？

福祉的なサポートが必要な方に対し、専門機関や行政関係者、地域住民組織等との連携の下、寄り添いながら支援に結びつけることを目的としています。

こんなケースがありました。

大学卒業後に就職活動が上手くいかず、生活ごみが堆積した部屋に引きこもる日々が続いていた30代の男性。地域あんしん支援員が訪問を重ね、玄関外のやり取りから次第に室内で話すことができるようになり「家の掃除をしたい」という希望を語ってくれました。部屋の片づけを一緒に進めていくことで、男性は自信をつけることができ、コンビニで就労しはじめています。男性からは「一緒に考えてくれる人がいて前向きになれた」という話を聞くことができました。

生活支援員の活動紹介

生活支援員って？

日常生活自立支援事業は、高齢でもの忘れがあったり、知的・精神の障害がある等の理由で、福祉サービスの利用や日々の金銭管理をひとりで行うのが難しい方のご相談に乗り、住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう支援する事業です。

この事業では、研修を受けた一般市民の方に「生活支援員」として活動していただいています。生活支援員には、利用者と同じ地域住民の目線で様々な相談に乗ってもらい、利用者が地域に溶け込んで暮らしていけるようお手伝いをしていただいています。

現役生活支援員の声

「自分が住む地域のために何かできることはないかな」と考えていた時に生活支援員の仕事を知り、5年前から活動を始めて、今まで3人の方の支援をしてきました。

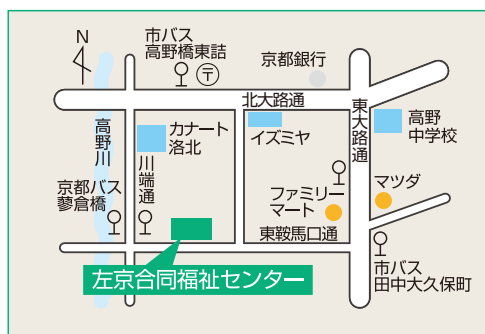
初めはお互いに緊張もするのですが、何度も通ううちに打ち解けてきて、生活上の悩みやご家族のこと等、プライベートなことも話していただけるようになったときに「信頼してくれている」と感じられて嬉しくなります。利用者さんからお聞きしたことは区社協の専門員さんにお伝えするのですが、そこから利用者さんの生活が改善されると「やっていてよかったな」と感じます。

利用者さんとの関わりを通して私の方が学ばせていただくこともたくさんあります。今では「いつもおおきに」と笑顔で迎えて下さることが嬉しくて活動を続けています。今後も自分のできる範囲で活動を続けていきたいと思っています。

社会福祉法人 京都市左京区社会福祉協議会 左京区ボランティアセンター

発行責任者 山田 栄一

〒606-8103 京都市左京区高野西開町5番地
京都市左京合同福祉センター 3階
TEL 075-723-5666 / FAX 075-723-5665
E-mail s-csw@sakyoku-syakyo-kyoto.jp
ホームページ <http://www.sakyoku-syakyo-kyoto.jp/>



●最寄バス停
市バス北8、204、206号系統
「高野橋東詰」バス停下車7分
31、204、206号系統「田中大久保町」バス停下車5分
京都バス16、17、21、23、32、34、35、41、43号系統
「夢倉橋」バス停下車3分

*合同福祉センターには駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。